

令和2年2月6日

令和元年度人事院総裁賞（第32回）受賞者について

人事院は、本年度の人事院総裁賞の受賞者（個人：2名、職域：3グループ）を以下のとおり決定しました。

2月12日（水）11時30分から明治記念館（東京都港区元赤坂）において授与式を行い、その後、天皇陛下の御接見を賜る予定です。

なお、皇后陛下の御体調に支障がなければ、天皇皇后両陛下での御接見になります。

【個人：2名】

農林水産省 関東農政局 農村振興部
国営事業情報分析官

ふりはた ひでき
降 籬 英 樹 （55歳）

タイの洞窟で遭難した少年らの洞窟からの救出活動を排水の技術的助言により支援し、洞窟内の水位を下げ救出活動を可能にする役割を果たして、公務の信頼を高めることに大きく貢献



海上保安庁 総務部 海上保安試験研究センター
試験研究官

やまざき
山 崎 ゆきみ （61歳）

犯罪捜査に係る証拠物件である油類・船舶塗膜等の分析・鑑定業務に29年間従事し、迅速・的確な鑑定の実施、分析鑑定業務の能力・信頼性の向上に尽力し、海上保安庁の捜査業務に大きく貢献



【職域：3グループ】

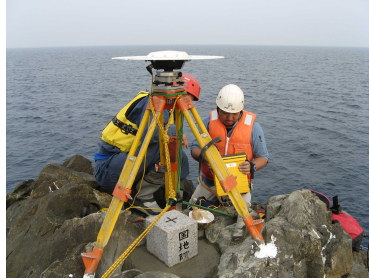
国土交通省

国土地理院 測地部 測地基準課

明治政府が近代測量に着手して以来150年、山岳部や離島の厳しい環境の中、正確な位置（緯度、経度）と高さを与える測地基準点の整備及び維持管理により、国土の保全と管理、社会の安全・安心の確立に大きく貢献



▲ 昭和40年代の測量作業の様子



▲ 平成18年肥前島での基準点測量の様子



▲ 平成23年東北地方太平洋沖地震での緊急水準測量の様子

気象庁

沖縄気象台 石垣島地方気象台

120年以上にわたり、途切れることなく同じ地点で気象観測を継続し、世界気象機関の百年観測所として国内で唯一認定。台風最前線の地で山岳気象レーダーの安定運用に尽力し、気象庁の観測・予報業務に大きく貢献



▲ 石垣島レーダー点検作業の様子



▲ 石垣島レーダー全景



▲ 百年観測所認定プレートを囲む職員

海上保安庁、財務省税関、 厚生労働省地方厚生局麻薬取締部

長期の粘り強い内偵捜査を行うとともに、関係機関で合同捜査体制を構築して、海上及び陸上における徹底した水際対策を実施し、過去最大量となる覚醒剤約1トン（末端価格約600億円相当）の密輸入を阻止し、国内治安の維持に大きく貢献



▲ 関係機関で連携した追跡捕捉訓練



▲ 押収した覚醒剤



▲ 洋上監視する航空機（イメージ）

人事院総裁賞とは

人事院総裁賞は、多年にわたる不断の努力や国民生活の向上への顕著な功績等により、公務の信頼を高めることに寄与したと認められる職員（一般職の国家公務員）又は職域を顕彰するものです。（昭和63年創設、今回32回目）

受賞者は、各府省等から推薦された候補の中から、選考委員会が選考を行い、その結果に基づき人事院総裁が決定します。

人事院総裁賞選考委員		(敬称略)
(委員長)	つくだ 和夫 あいはら 理咲 おしま まり さとう 友美子 にしき 正明 はしもと 五郎 みわの 幸人	三菱重工業株式会社特別顧問 アイランド株式会社代表取締役 東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授 追手門学院大学地域創造学部教授 作家 読売新聞特別編集委員 株式会社テレビ新広島代表取締役社長
		以上7名

以 上

問	人事院事務総局 総務課長	荻野 剛
合		総務課長補佐(調整班) 小林 義和
せ		電話(03)3581-5311 (内線2105)
先		(03)3581-2772 (直通)